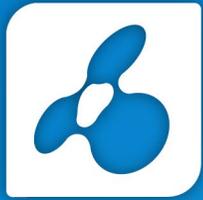


User Summit 2021

業務連携の継続的なデジタル化で
サプライチェーンを「強くする」

Business
 b-ridge

オールインワンのアプリプラットフォーム

■ プログラム

1. 2021年度 事業方針

- Business b-ridge プロダクトマネージャー 岡 正弘

2. 新機能のご紹介

3. 製品デモンストレーション

4. ご質問会

業務連携の継続的なデジタル化で
サプライチェーンを「強くする」



オールインワンのアプリプラットフォーム

サービス提供開始から継続利用率99%以上

倫理指針への柔軟な対応を実現する
倫理・ボランティアシステムを構築



第一三共株式会社
アステラス製薬株式会社

開発プロセスのスピード化
と監査・査察対応の効率化



コニカミノルタ株式会社
(ヘルスケア事業本部)

貿易帳票の作成・管理業務の一元化



中外製薬株式会社
(海外営業推進部)

輸入管理支援システム



オリンパス株式会社

Business b-ridgeで配送進捗を管理



日本メジフィジックス株式会社

予約/回答業務効率化と
顧客サービスレベル向上



ANAセールス株式会社

輸出業務の見える化
とデータの一元管理



ATTO株式会社

製品苦情管理業務



エイワイファーマ株式会社

🔗 これまでBusiness b-ridgeで構築した業務システム例

■購買部門

- ・サプライヤーリスク管理
- ・購入品リスク管理
- ・見積・査定管理
- ・単価契約調整

■営業

- ・引合情報管理
- ・プロモーション情報管理
- ・見積・仕入・販売管理
- ・代理店予約受付管理
- ・申請書管理

■設計・開発部門

- ・DR部門
- ・設計・開発文書管理
- ・設備保全管理

■物流部門

- ・輸入書類・通関管理
- ・輸出書類・梱包管理
- ・物流トラッキング管理
- ・物流可視化サービス



■品質管理

- ・品質情報管理
- ・CAPA管理
- ・出荷判定管理

■生産管理部門

- ・委託先情報連携
- ・引合仕様情報管理

■在庫

- ・出荷管理
- ・輸入貨物トレース・店着管理
- ・輸送状況情報提供サービス

■配送

- ・問い合わせ管理
- ・情報提供サービス
- ・サポートデスク
- ・クレーム管理
- ・在庫管理

 サプライチェーンのシステム化に
これから求められるもの

🔗 サプライチェーンの課題解決に向けたシステムに求められるもの

ビジネスの成長

市場に対する変化

事業所・取引先
の増減

製品の多様化

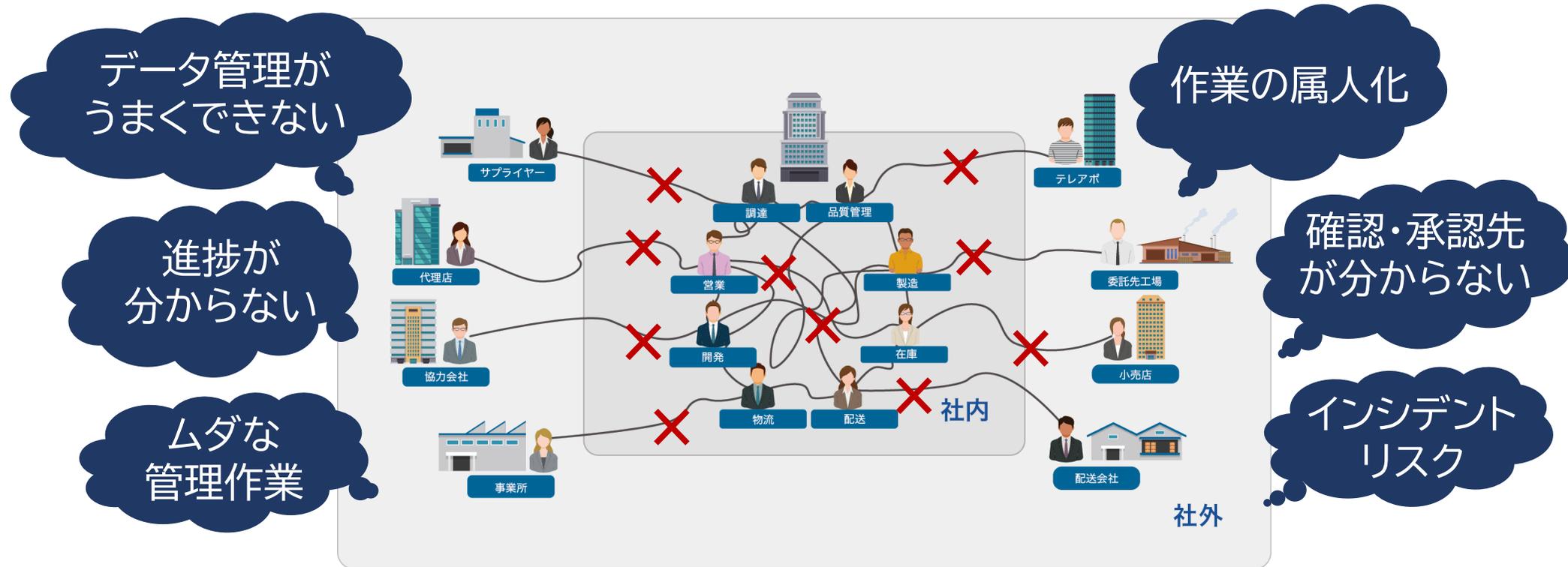
グローバル競争

災害リスク

サプライチェーンの業務連携には
継続的な改善が求められる

🔗 サプライチェーンの課題(1/2)

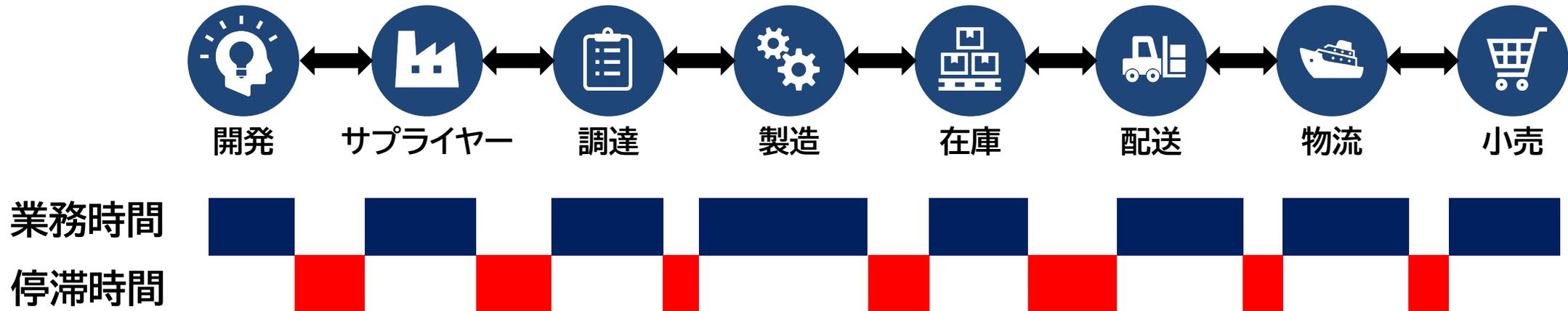
社内外の業務連携で発生する非効率な業務



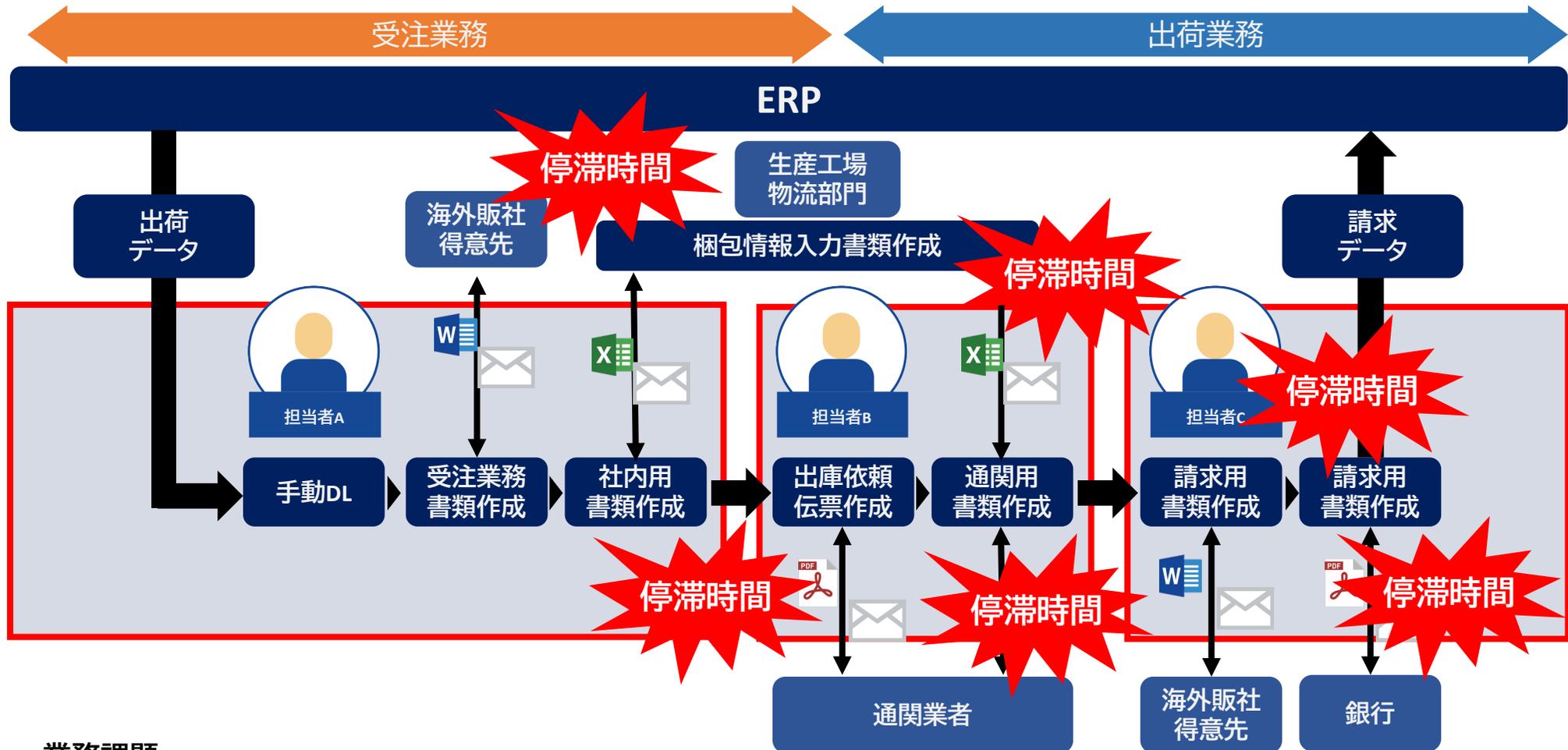
サプライチェーンでは営業や製造、見積・購買、物流など社内の多部門とサプライヤーや委託先工場など社内外の企業が業務を連携させることで価値を生み出しています。しかし、サプライチェーンの業務連携は企業ごとに独自性が高く、複雑で非効率な業務に課題を抱えている企業が多くあります。

🔗 サプライチェーンの課題(2/2)

開発・調達(購買)・生産(製造)・配送(出荷/物流)での業務連携



サプライチェーンの課題(3/3)受注から出荷までのドキュメント作成の業務プロセス



業務課題

- 貿易関連の書類作成が各担当者に委ねられているため、全体の進捗状況が誰にも分からない。
- 製品ごとに関連する貿易書類が一元管理できていない。
- 関係者への記入依頼や確認、承認に時間がかかる。

業務改善が進まない原因とは？

サプライチェーンの業務連携は3つの特徴から
独自性が高く複雑な業務を継続的に改善する
必要があるため、**システム構築・運用費用が**
高くなるため

🔗 サプライチェーン業務の特徴とは？

サプライチェーン業務の特徴

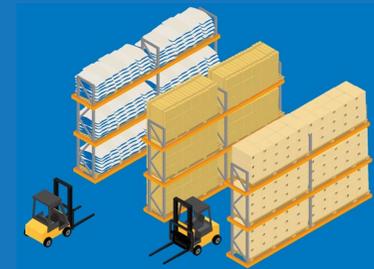
特徴①: 生産形態の違いから企業ごとに業務の独自性が高い

同じような業務でも製品の調達や製造、在庫、流通方法など生産形態の違いから企業ごとに独自性が高く、業務に合ったシステムの構築には多くの時間や費用が必要となります。



特徴②: 市場の変化に合わせた変更や改善が多い

市場の変化から生産拠点が再配置されたり、リスク対応(災害・関連企業の倒産など)のため業務プロセスの変更・改善が多くあります。そのためシステムも変更することが求められ、運用による負担が大きくなります。



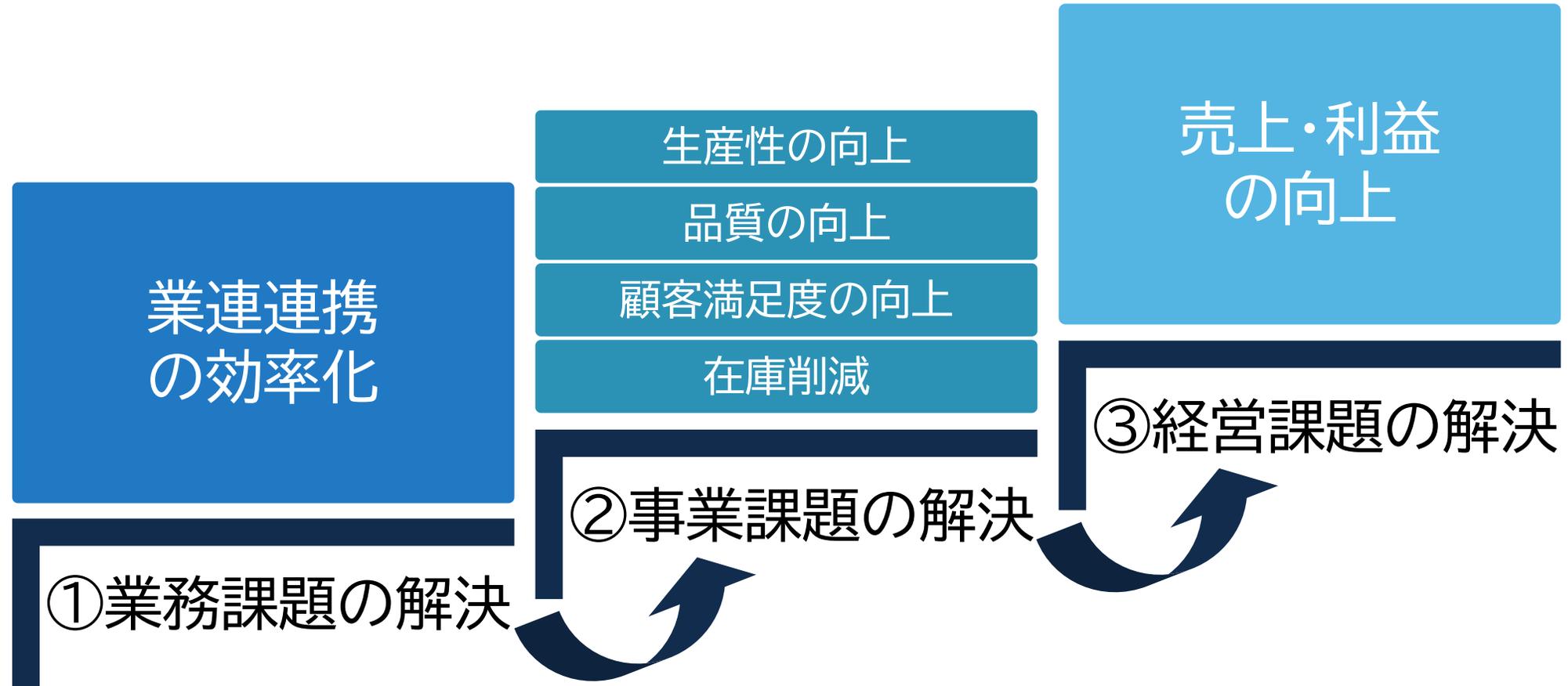
特徴③: 社内外から多くのユーザーが関わるため業務プロセスが複雑になる

営業、製造、サプライヤー、調達、委託先、倉庫、物流など様々な役割を持つ多くのユーザーが関わり合うため業務が複雑になりシステム化が難しくなります。

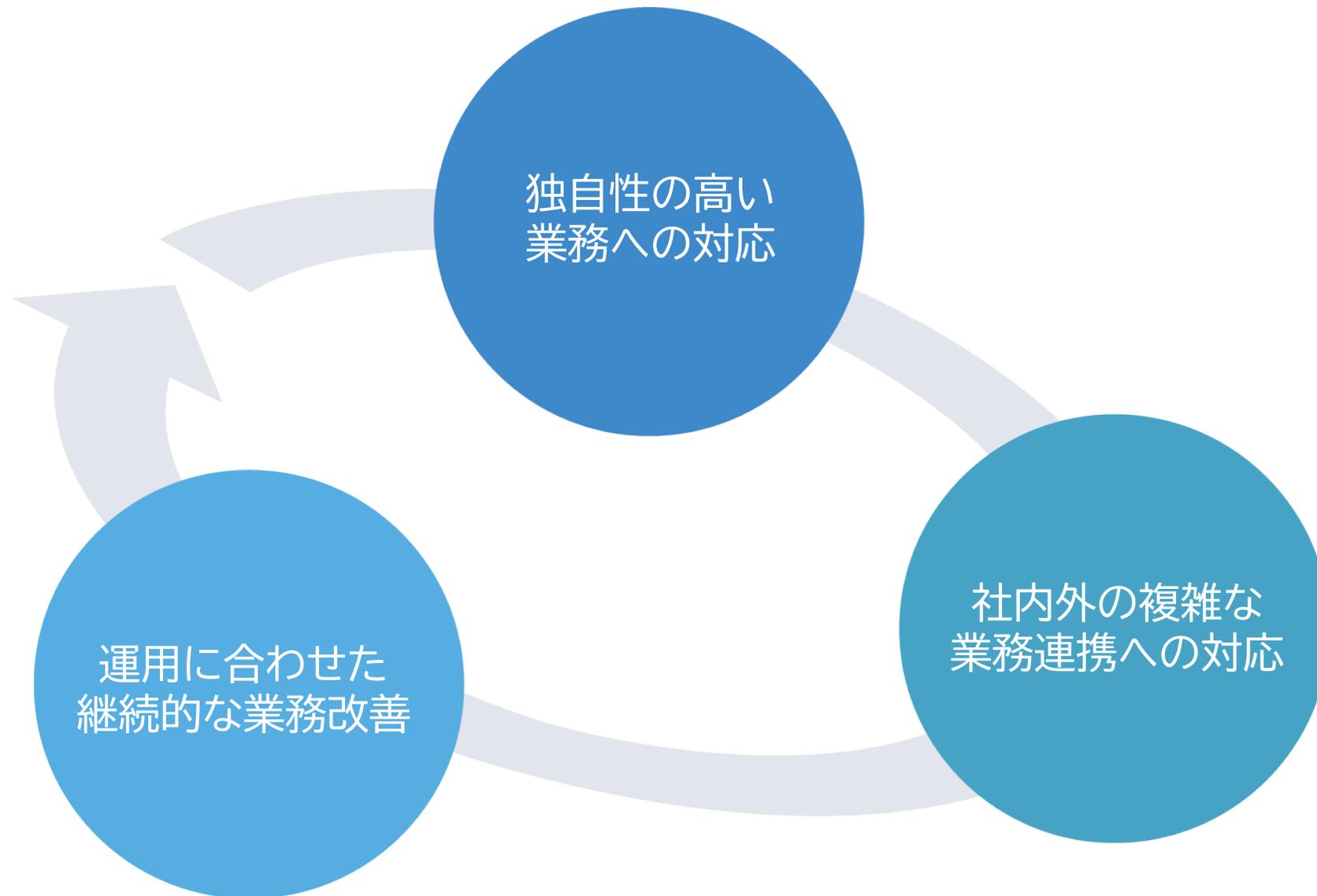


🔗 業務課題の解決から経営課題の解決へ

業務連携の効率化は経営課題の解決「売上・利益の向上」にも繋がります



🔗 サプライチェーンの課題解決に向けたシステムに求められるもの



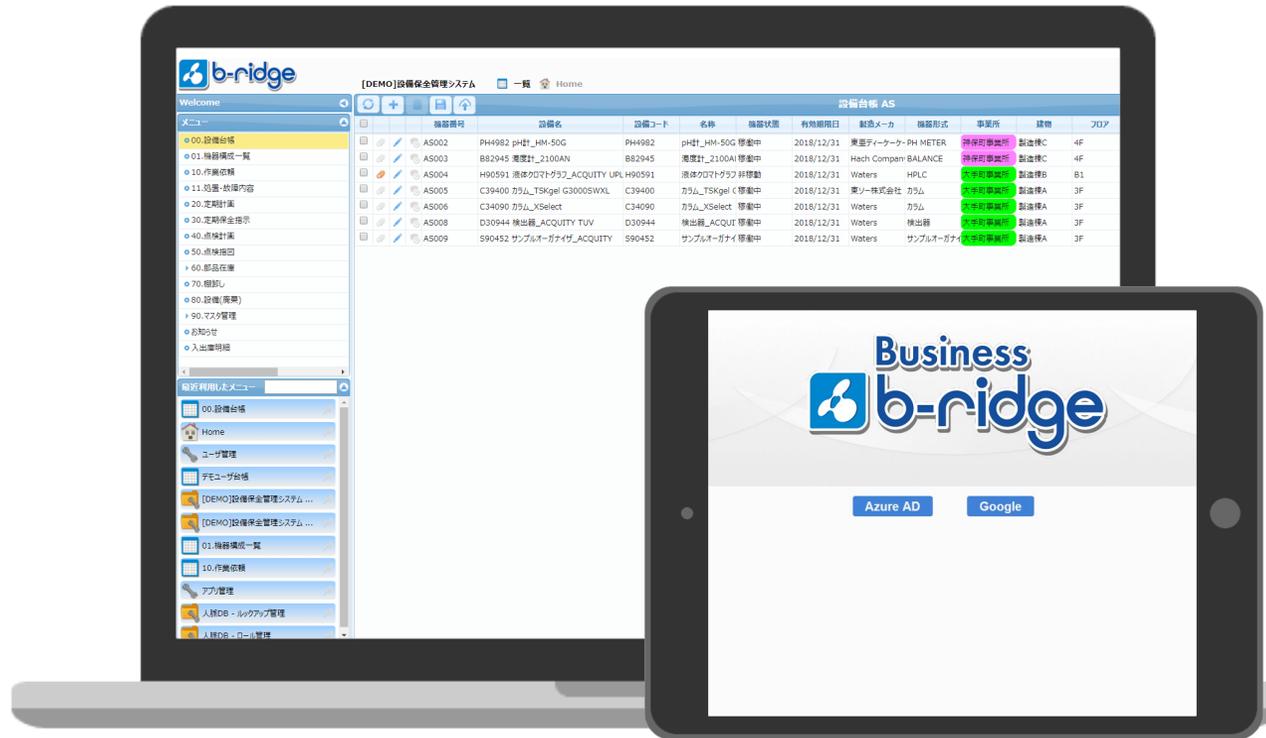
新しくなったBusiness b-ridge

業務連携の継続的なデジタル化で
サプライチェーンを「強くする」



オールインワンのアプリプラットフォーム

Business b-ridgeとは



Business b-ridgeの強み

①

複雑な業務システムも
スピード構築

②

業務に合わせた
柔軟運用

③

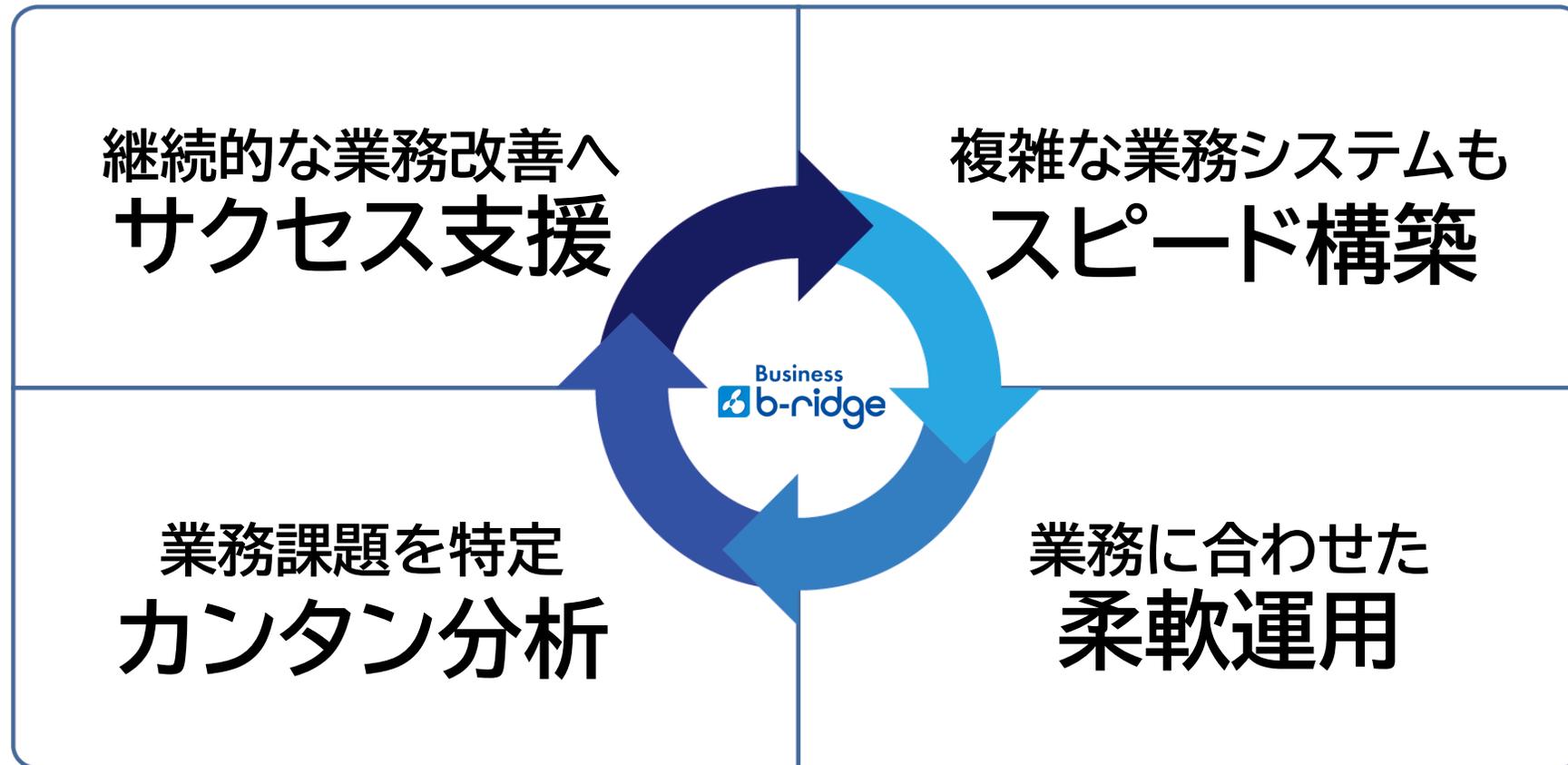
業務課題を見つけ出す
カンタン分析

④

継続的な業務改善のための
サクセス支援

Business b-ridgeでサプライチェーンの業務連携を継続的に改善を実現

業務連携の継続的な改善



継続的な業務改善へ「Business b-ridgeサイクル」

1

スピード開発

ワンクリックでアプリを作成し、画面操作から業務に合った設定に調整

- ・ワンクリックアプリ作成
- ・デフォルトアプリ
- ・アプリコピー
- ・バルクインポート
- ・オンラインエディター
- ・データ連携

2

柔軟な運用

実際に運用しながら機能を追加したり利用する業務範囲を拡げる

- ・プロセス制御
- ・ワークフロー
- ・通知連携
- ・ビジネスロジック

3

カンタン分析

承認プロセスのデータを分析して業務の停滞時間を特定し、業務改善につなげる

- ・ワークフロー分析
- ・データ履歴
- ・アクションログ
- ・設定変更ログ

4

サクセス支援

Business b-ridgeによる業務改善をご支援

- ・システム設計、構築支援
- ・システム連携支援
- ・業務改善支援

継続的な業務改善へ「Business b-ridgeサイクル」

1

スピード開発

ワンクリックでアプリを作成し、画面操作から業務に合った設定に調整

- ・ワンクリックアプリ作成
- ・デフォルトアプリ
- ・アプリコピー
- ・バルクインポート
- ・オンラインエディター
- ・データ連携

2

柔軟な運用

実際に運用しながら機能を追加したり利用する業務範囲を拡げる

- ・プロセス制御
- ・ワークフロー
- ・通知連携
- ・ビジネスロジック

3

カンタン分析

承認プロセスのデータを分析して業務の停滞時間を特定し、業務改善につなげる

- ・ワークフロー分析
- ・データ履歴
- ・アクションログ
- ・設定変更ログ

4

サクセス支援

Business b-ridgeによる業務改善をご支援

- ・システム設計、構築支援
- ・システム連携支援
- ・業務改善支援



新機能の説明

Business b-ridgeリリース予定の新機能

#	機能	リリース次期	機能概要
1	ワークフロー	初版5月リリース	新しくワークフロー機能が加わり、承認・確認プロセスを標準化することができるようになります。
2	グループ機能	初版5月リリース	これまでのBusiness b-ridgeは、ユーザを事業所や部門ごとでまとめる機能がありませんでしたが、任意で作成したグループにユーザを追加してメッセージ通知先やワークフローの承認先としてまとめることができるようになります。
3	ワークフロー分析	初版5月リリース	分析機能では画面ごとに設定したワークフローの履歴をグラフ化し、各承認、確認にかかった時間から業務と業務の連携で発生する停滞箇所が見える化、分析できるようになります。
4	デフォルトアプリ作成	初版5月リリース	アプリの作成時にTODOアプリや申請書アプリなどあらかじめ作成されたアプリをテンプレートとして選択できるようになります。
5	アプリ作成の簡易化	初版8月リリース	7月のリリースで機能ごとの整合性を見直し、ユーザが簡単にアプリが作成できるようにUXを見直しました。
6	メッセージ機能強化	初版8月リリース	これまでメール送信での自動連携はロール単位でしか制御できませんでしたが、事業所や取引先など細かなグループごとに送信先を制御できるようになります。また、メール送信のタイミングや条件なども設定できるように改善されます。

ワークフロー&グループ機能

The screenshot shows a web application interface for managing workflow tasks. At the top, there are navigation buttons: 戻る (Back), 読込 (Refresh), 保存 (Save), 親子コピー (Parent/Child Copy), and ワークフロー (Workflow). A dropdown menu for 'ビュー選択' (View Selection) is also present. Below the navigation is a header bar with '1列' (1 Column), '2列' (2 Columns), and '3列' (3 Columns) options, and a title '申請書ヘッダー' (Application Form Header). The main content area is divided into several sections:

- *ステータス** (Status): 8_在庫確認_差戻し (8_Inventory Confirmation_Difference Return)
- 申請情報** (Application Information):
 - 申請No (Application No.): No.000013
 - 取引先名称 (Counterparty Name): DEG会社
 - 配布日 (Distribution Date): 2021/02/18
 - 備考 (Remarks):
- 在庫管理担当者記入** (Inventory Management Officer Entry):
 - 届け出予定日 (Scheduled Submission Date): 2021/02/26
- レコード情報** (Record Information):
 - 作成日 (Creation Date): 2021/02/07 20:37:49.223

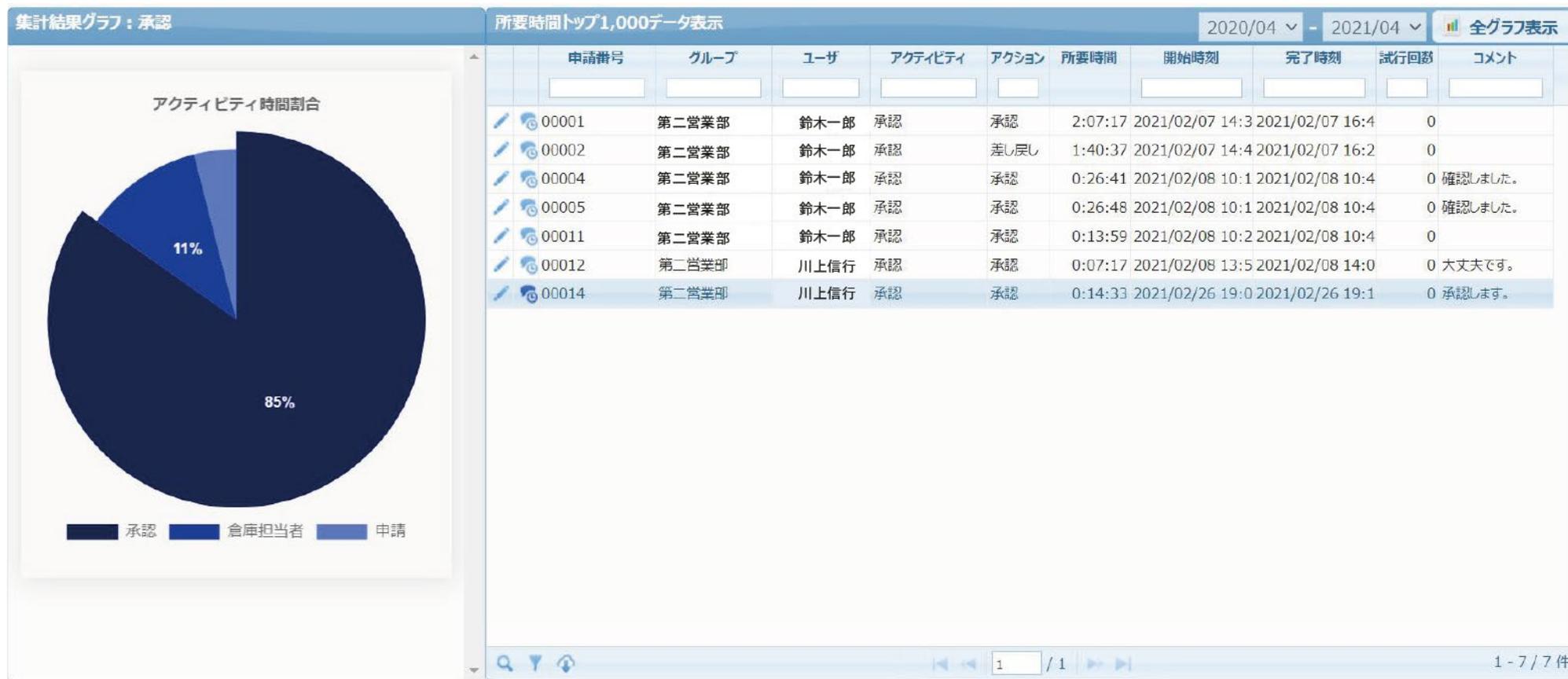
On the right side, there is a 'ワークフロー' (Workflow) section with '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. It includes an '申請承認' (Application Approval) form with fields for '申請番号' (Application No.) (00005), 'ワークフローを承認してください。内容に問題がある場合、差戻しか否認を選択してください。' (Please approve the workflow. If there is a problem with the content, please select 'Difference Return' or 'Denial'), 'アクション' (Action) (承認), 'アクター' (Actor) (山田太郎), and 'コメント' (Comment). Below this is a 'ルート設定' (Route Setting) and '処理履歴' (Processing History) section. The '処理履歴' section contains a table:

No.	アクティビティ	グループ	ユーザ
1	申請		
2	承認	第一営業部	鈴木一郎
3	倉庫担当者	倉庫担当	佐藤良介
4	終了		
4			

At the bottom, there are navigation buttons: Contents, メッセージ (Message), データ履歴 (Data History), リンク (Link), and 申請書明細 (Application Form Details).

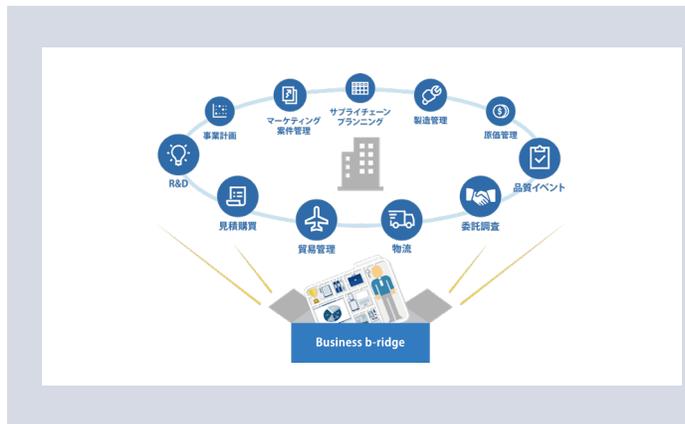
役割の違うメンバーや部門・企業間で多くのやりとりが必要な申請・確認・承認をシステム化するワークフロー機能があります。申請・確認・承認のルート選択を標準化し、依頼通知を自動化することで、滞留して長い時間がかかっていた業務もスピーディになります。また、ワークフローには欠かせない承認や操作の履歴も画面から証跡として確認できます。

ワークフロー分析



Business b-ridgeではユーザの申請・確認・承認にかかった所要時間を管理しています。所要時間は部門などのグループ単位や申請・確認、承認などの作業単位など、複数の分析軸から全体の割合をグラフ化し、可視化します。それぞれの分析軸から所要時間の多くかかった業務を特定し、業務改善につなげることができます。

🔗 デフォルトアプリ作成&アプリ作成の簡易化



The screenshot shows a software interface with a data table. The table has multiple columns and rows, with some cells containing text and others containing numbers or symbols. The interface appears to be a configuration or data entry screen.



1 ワンクリックでアプリ作成

アプリ設定からアプリ作成のボタンをクイックするとアプリが作成されます。

2 設定調整

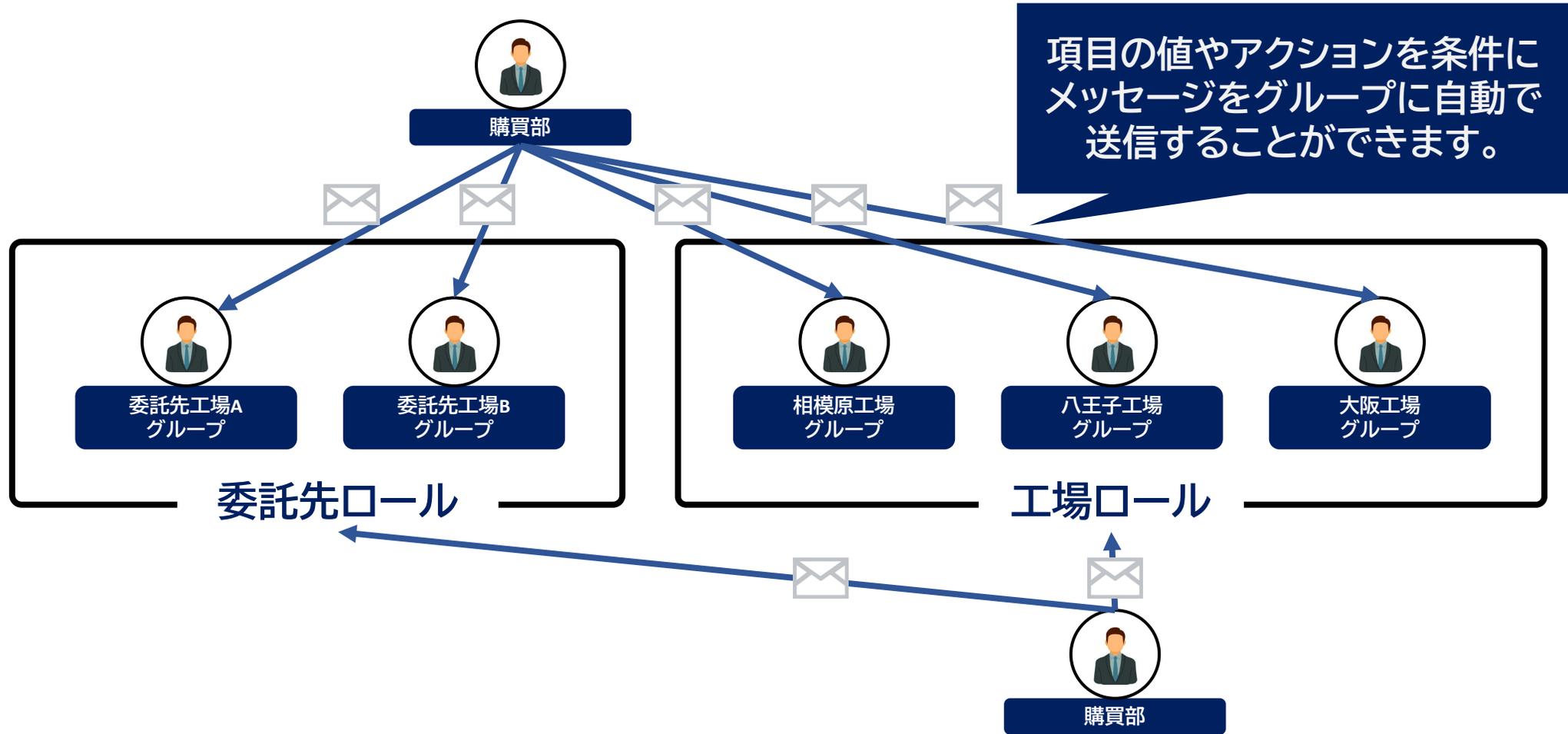
画面の入力項目などを変更し、業務に合うように調整します。

3 データ登録

最後に業務データを登録するとアプリが完成します。

7月のリリースで機能ごとの整合性を見直し、ユーザが簡単にアプリが作成できるようにUXを見直しました。アプリの作成時にTODOアプリや申請書アプリなどあらかじめ作成されたアプリをテンプレートとして選択できるようになります。

メッセージ機能強化

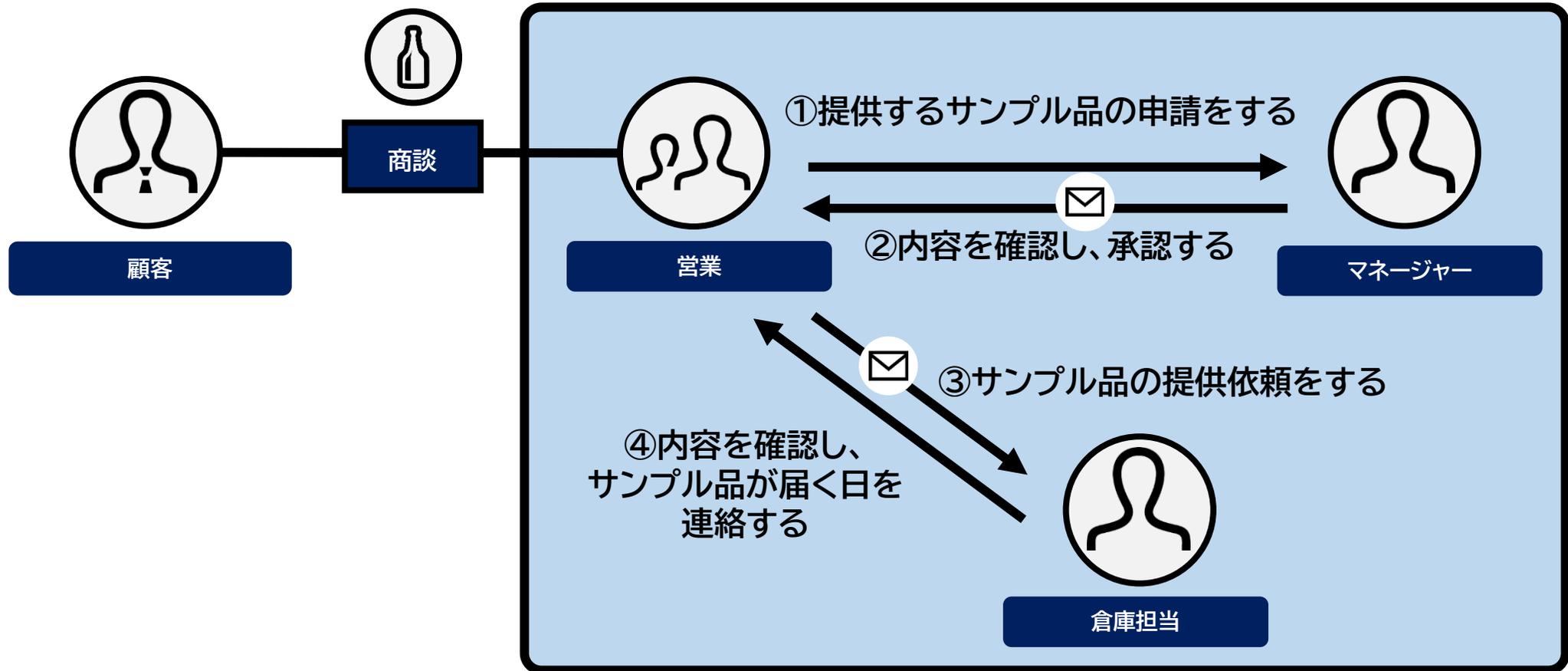


これまでメール送信での自動連携はロール単位でしか制御できませんでしたが、事業所や取引先など細かなグループごとに送信先を制御できるようになります。また、メール送信のタイミングや条件なども設定できるように改善されます。

新機能デモンストレーション

🔗 デモシナリオ(サンプル品出庫管理)

飲料メーカーをイメージしたサンプル品の出庫管理の業務フロー



Business b-ridgeリリース予定の新機能

#	機能	リリース次期	機能概要
1	ワークフロー	初版5月リリース	新しくワークフロー機能が加わり、承認・確認プロセスを標準化することができるようになります。
2	グループ機能	初版5月リリース	これまでのBusiness b-ridgeは、ユーザを事業所や部門ごとでまとめる機能がありませんでしたが、任意で作成したグループにユーザを追加してメッセージ通知先やワークフローの承認先としてまとめることができるようになります。
3	ワークフロー分析	初版5月リリース	分析機能では画面ごとに設定したワークフローの履歴をグラフ化し、各承認、確認にかかった時間から業務と業務の連携で発生する停滞箇所が見える化、分析できるようになります。
4	デフォルトアプリ作成	初版5月リリース	アプリの作成時にTODOアプリや申請書アプリなどあらかじめ作成されたアプリをテンプレートとして選択できるようになります。
5	アプリ作成の簡易化	初版8月リリース	7月のリリースで機能ごとの整合性を見直し、ユーザが簡単にアプリが作成できるようにUXを見直しました。
6	メッセージ機能強化	初版8月リリース	これまでメール送信での自動連携はロール単位でしか制御できませんでしたが、事業所や取引先など細かなグループごとに送信先を制御できるようになります。また、メール送信のタイミングや条件なども設定できるように改善されます。

業務連携の継続的なデジタル化で
サプライチェーンを「強くする」



オールインワンのアプリプラットフォーム